

2024 年 4 月 30 日

労使協議会 議事記録

<法人側>

医師の働き方改革の労働と研鑽に関する件

資料提示により意見交換

本学独自の取り決めはおこなわず中央当局からの発令に倣う方針であるとの説明がなされてきたが、今回は本学独自とすることの説明を求めた。

基本的には中央当局方針通りであるとの説明のもと、今回の研鑽基準案も根本原則として発令されているものの通りであり、現在種々の通達が出ているもののこれも議論の最中と聞いており、現在は様子見の段階。ただこれら通達の議論においても根本的な方針は令和3年発令当初のものが基準として行われているとの説明を受けた。

本学独自項目には大きな違和感があるとともに、内容には異議がある旨申し添えた

<組合側>

白衣支給の際のズボンの選択に関して

毎年支給白衣のサイズをアンケート調査しており、これにズボンの支給希望があるかどうかを改めて調査されたい。前回提示のアンケート結果には疑義があり、アンケートに回答したという職員がみあたらない。

アンケートに記載することによって期待を持たれることを危惧している。実際には導入への資金面でのハードルが高いと試算されている。

再度さまざまな角度から検討しなおしてほしい旨伝える。

本学将来構想の会議体「大阪医科薬科大学 未来創生検討会議」に関して

内容に関して意見交換

将来構想として本学の教育・研究面の強化がうたわれているように感じている。昨今の本学方針は医療に重点を置き、収益等の面からも実臨床を最優先に取り組むべきとの考えが示されてきており、実際時間外における労働もこれのみとの通達を受けている。どの様に考えるべきか？

会議体は未だ実体がなく方向性も定まっていない為、現時点でも議論の最中であり、意見交換の段階にはない。